

令和3年度（2021年度）

事業計画

学校法人 日本社会事業大学

目 次

第1	事業運営の基本方針及び組織横断的取り組み	1
第2	各組織ごとの主要な取り組み	
1	社会福祉学部	3
2	両大学院	3
3	通信教育科	4
4	社会事業研究所	5
5	図書館及び子ども学園	6
6	法人本部	
1)	法人運営	6
2)	財政運営、施設整備等	7
(参 考)		
1	設置の場所	8
2	学生の修業年限・規模等	8
3	授与する学位	9
4	教育組織図	9
5	主要事業実施日程	10
6	令和4年度入学者選抜の実施	11

第1 事業運営の基本方針及び組織横断的取り組み

- 新型コロナウイルス感染症を廻る厳しい状況が続くことが予想される中、学生が安心して必要な教育が受けられ、教職員が教育・研究等を円滑に行えるよう最大限の努力を行う。
- 指導的社会福祉従事者養成という本学のミッションを達成するため、引き続き学部におけるソーシャルワーク教育を基盤とした上で、研究大学院、専門職大学院、通信教育の機能を最大限に活用し、生涯にわたるキャリアアップと実践支援に組織的に取り組み、本学の存在意義や価値を高める。
- 令和3年度は、第3期中期計画（平成28年度～令和3年度）の最終年度となることから、これまでの進捗状況を総括し、新学長のもと新たな第4期中期計画（令和4年度～令和9年度）を策定する。
- 入学志願者の増大と入学者の学力レベルの向上が本学全体の重要課題となっていることから、受験生へ向けたより効果的なWeb広報を行っていくとともに、新たな広報手段の検討・実施に取り組む。
- 変容する時代のニーズや課題に即した教育・研究・実践活動への展開が期待される中、国内外の組織や専門多職種との連携を強め、新たなミッションに立ち向かうための組織的基盤を整えていく。
- 社会福祉士等国家試験の合格率向上、公務員試験の内定率向上に取り組むとともに、95%以上の就職率を継続させる。
また、公務員への就職実績を踏まえ、地方自治体や政府の職員による仕事説明会の場を設けるほか、公務員試験合格者から直接体験談を学生が聞ける機会を設ける。
- 学長室社会福祉研修センターにおける厚生労働省からの研修委託事業（予算案ベース）を令和2年度の2コースからさらに増設し、より広い範囲をテーマに実施する。
研修内容については、厚生労働省が別途予定している自治体職員向け研修との相乗効果が期待できるものとするとともに、これまでの実施実績を踏まえ、自治体職員にとって受講しやすい実施方法を検討する。

- 大学運営の厳しい環境が続く中、本学の有力な支援団体である同窓会、教育後援会等との連携をさらに強化し、教育研究・学生支援活動等の充実を図る。
- より一層の寄附を呼びかけるに当たり、寄附金趣意書をより分かりやすいものに見直すとともに、ホームページを通じた寄附申込の利便性の向上を図る
- 全国 27 校が加盟する福祉系大学経営者協議会と連携し、福祉職の地位向上、学生募集環境の向上、福祉を学ぶことの価値・魅力の発信等を行っていく。
- 昨年度、市政施行 50 周年記念事業を共同開催したことで、清瀬市大学連携推進協議会の活動が地域により広く認知されてきたが、令和 3 年度は、更なる地域貢献活動に取り組んでいく。

第2 各組織の主要な取り組み

1 社会福祉学部

- ICT を効果的に活用するとともに、資格課程のあり方、コース、モデル科目等の見直し作業を組織的に進める。
- 高等教育の修学支援制度が施行されて2年目となるが、国の制度と外部の奨学金を活用し、学生が経済的な理由により学業継続を断念することのないよう引き続き適切な支援を行う。
- アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの3ポリシーの見直しを完成させる。
- 令和2年度に引き続き、ICTを活用した教育の質保証の取り組みを継続する。
- 認証評価に備え所要の自己評価作業を実施する。

2 両大学院

(1) 研究大学院

- 博士論文審査過程の検証を行い、必要な改善を図る。
- 認証評価に備え所要の自己評価作業を実施する。
- 対面を原則としながらも、遠隔地在住者、現職を有する院生への多様な研究指導形態（ハイブリッド型を含む）を継続し、コロナ禍後に向けて、今後の研究指導のあり方を検討する。
- 「リカレント入学」及び「福祉関係職経験者入学」の志願者を拡充するための方策を検討する等、志願者の安定的確保を図る。

- 実践的研究のできる実践者の養成と、実践を踏まえた社会福祉学の研究・教育者の養成という二つの方向性を見据えた大学院教育を目指し、そのあり方についてさらに検討を加える。
- 大学院設置基準の改正を踏まえ、他大学院との単位互換制度の導入等入学前の既修得単位認定の柔軟化、それに伴う在学期間の短縮、博士論文提出までの在学期間及び満期退学後の学位取得のあり方について検討する。
- 本学学位取得者（修士、博士）による特別講義等を通して院生教育の充実を図る。

(2) 専門職大学院

- 働きながら学びやすい環境づくりを推進するため、同時双方向型オンライン授業を積極的に取り入れる。
- 多様なメディアを活用した授業ツールについて、2カ年の評価を行い、改善が必要な場合は再検討を行う。
- 専門職大学院教育課程連携協議会での意見を踏まえ、より魅力あるカリキュラムを構築するため、科目の再編成等を行う。
- 認証評価に備え所要の自己評価作業を実施する。
- 社会福祉従事者の実践力を高めるための「リカレント講座」や、時宜に合う内容での「福祉実践フォーラム」を開催し、本学専門職大学院を広く周知するとともに、入学志願者の確保を図る。また、周知方法としてSNSの活用等新たな方法を検討する。

3 通信教育科

- 学部・大学院との連携を強化し、本学独自の魅力ある通信教育体系の構築、国家試験合格率向上に向けた対策講座等の拡充、Web・紙媒体による効果的な広報活動の実施、各課程修了者及び実習施設や出願の多い業種を対象に選定

した事業者への案内送付等、多様な働きかけを実施することにより、各養成課程の定員の確保に努める。

- 社会福祉士課程及び精神保健福祉士課程のカリキュラム改正に向けた準備・検討を進める。
- 在学生及び修了者への他資格取得のための再入学や専門職大学院への学内推薦によるステップアップ等、キャリア支援をすすめる。
- 社会福祉主事養成課程等の定員見直しについては、出願状況を確認しつつ引き続き検討する。
- 新型コロナウイルス感染症に対しては、その対策の徹底と状況に応じた臨機応変な対応を通じて、各課程の円滑な運営を図るとともに、実習先確保に向け引き続き新規開拓に努める。

4 社会事業研究所

- 共同研究事業を継続するとともに、国内外との研究交流活動、研究成果を公表し推進する。また、文部科学省科学研究費補助金に創設されたバイアウト制度を導入する。さらに、大学院生個々の研究活動に対する外部助成金（日本学術振興会特別研究員等）の獲得に向けて、新たな支援策を検討する。
- 文部科学省や厚生労働省の科学研究費補助金等の外部資金の獲得に努力する。
- 公的研究費の運営・管理に関わる責任体制の明確化と適正な管理・監査に係る取組みを更に推進するとともに、コンプライアンス教育、啓発活動等の計画を策定し充実を図る。
- 生協等関係団体からの助成金を活用し、地域福祉関係者によるオンライン講座による研究事業を推進する。

5 図書館及び子ども学園

- 土曜日の開館時間延長については、令和4年度からの実施に向けて、関係規程の改正及び運営体制等を整備する。
- 利用が殆どされていない逐次刊行物（紀要等）を除籍し、所蔵スペースを確保するとともに、利用しやすい資料の配架に努める。
- 子ども学園については、安定的な事業運営を継続するとともに、第三者評価の受審（3年に1度）等を通じてさらなるサービス水準の向上に努める。

6 法人本部

(1) 法人運営

- 学内に設置した「新型コロナウイルス感染症対策本部」を中心に、引続き感染対策の徹底、学生や教職員に対する注意喚起、必要な情報提供等を行う。
- 新たに就任した学長のリーダーシップのもと、教育・研究のより一層の情報システム化、オンライン化と実習教育の高度化を図るとともに、法人の「存在価値」を高めるためのガバナンスの強化に取り組む。
- 令和3年度は、第3期中期計画（平成28年度～令和3年度）の最終年度となることから、これまでの進捗状況を総括し、新学長のもと新たな第4期中期計画（令和4年度～令和9年度）を策定する。
- 令和4年度に受審予定の大学機関別認証評価に備えて所要の自己評価作業を行う。
- 教育職員の人事管理に関連する諸課題（人事計画の策定、昇格の基準や手順の見直しなど）の解決に向けた取り組みを継続的に推進する。
- 平成30年度から一部を除いて施行してきた教育職員実績評価について、令和3年度から全面施行となるため、円滑な導入を図る。
- 裁量労働制の導入等の柔軟な働き方について検討する。

- 「労働施策総合推進法」及び「女性活躍推進法」等の改正により、令和4年度から中小企業にもパワーハラスメント防止や女性活躍に関する行動計画の作成が義務付けられたことから、所要の関係規定の見直し等を行う。

(2) 財政運営、施設整備等

- 引き続き、健全な財政基盤を維持して行くため、毎年度の収支均衡維持に努めるとともに、中長期的な財政運営安定化に向けた方策を検討する。
- 他大学の事例をも参考にしつつ、本学の教育システムのより一層のICT化に積極的に取り組む。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、学生及び教職員等の安全を守るために必要な対策を講じるとともに、安定的に対面とオンラインを併用した授業や遠隔会議等を実施していくため、早期にインターネット環境の改善・充実を図る。
- 松窓寮（学生寮）のICT環境の整備を行うとともに、寮の生活環境改善のため、早急にエアコンを設置する。
- より適確な情報提供と効果的な広報を行っていくためホームページをフルリニューアルする。
- 人事院勧告等に基づく給与改定手続き、定年等に伴う計画的採用人事、有期雇用職員・派遣職員等の活用等人員・人件費の適正化を継続して進める。
- 現在分散登校等により、食堂（日本社会事業大学生生活協同組合が運営）が閉鎖を余儀なくされているが、今後、再開を目指し感染状況等を見ながら所要の経営支援等を検討する。
- 国費による整備が予定されている以下の施設整備について、厚生労働省等の関係機関と連携して着実な遂行に協力する。
 - ・ 体育館アリーナ及び講堂の特定天井耐震化工事
 - ・ 教学A棟、研究棟、管理棟、図書館棟、厚生棟、実習棟、体育館棟、講堂棟、宿泊棟の外壁・屋上防水改修工事に向けた設計業務

(参 考)

1 設置の場所

所在地	設置する学校等
東京都清瀬市竹丘三丁目1番30号	[清瀬キャンパス] 大学、大学院、通信教育科、社会事業研究所、附属図書館
東京都清瀬市梅園一丁目2番50号	附属実習施設子ども学園、寄宿舎（学生寮「松窓寮」）
東京都小平市花小金井四丁目39番10号	宿泊施設（招聘研究者用）
東京都文京区小石川五丁目10番12号	[文京キャンパス] 大学院（専門職）、各種講座

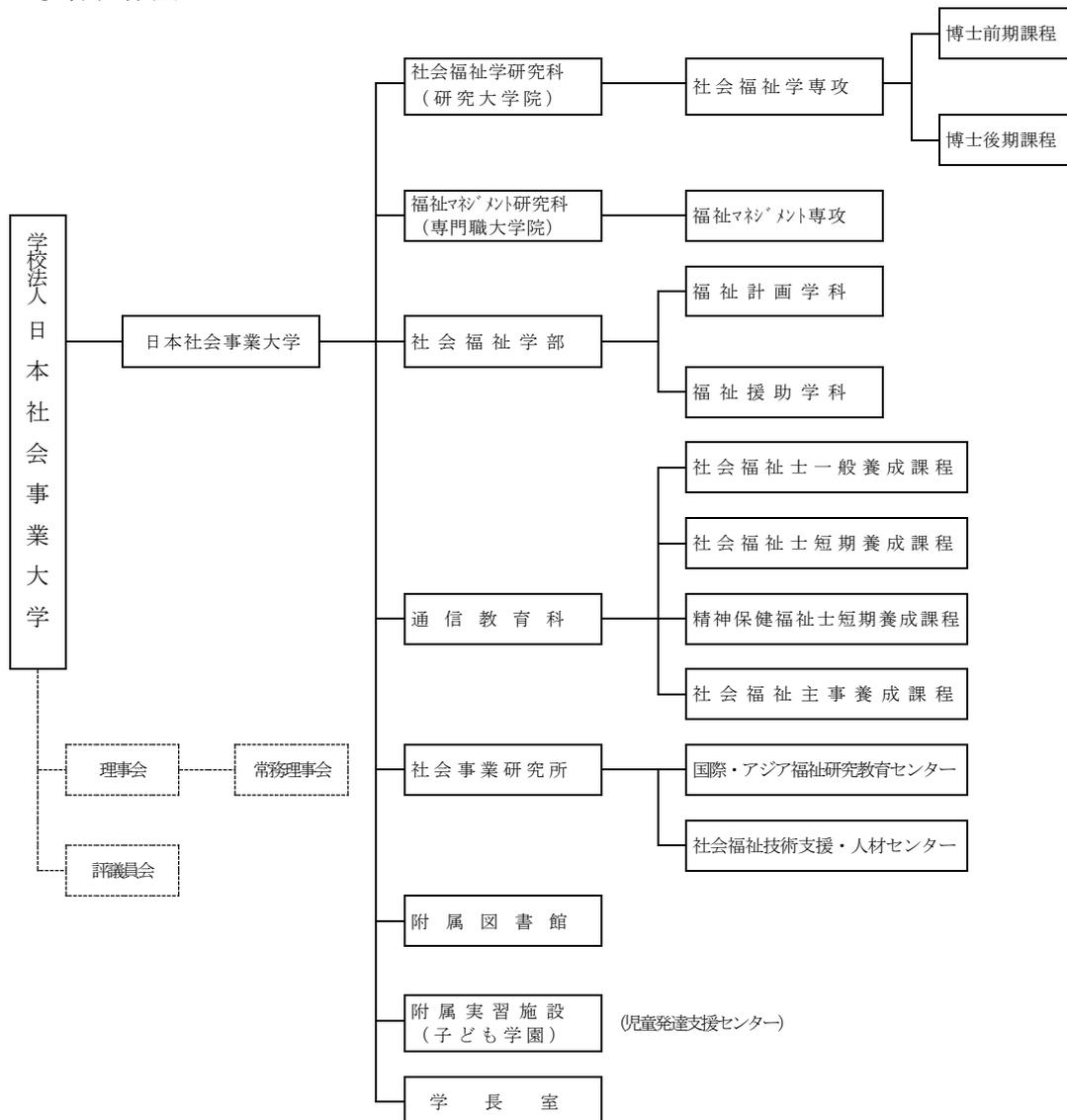
2 学生の修学年限・規模等

区分	学部・学科等		入学定員	修業年限	摘要	
大学	社会福祉学部	福祉計画学科	1年次入学	55人	4年	
			3年次編入学	10人	2年	
	福祉援助学科	1年次入学	105人	4年		
		3年次編入学	10人	2年		
大学院	福祉マネジメント研究科（専門職大学院）	専門職学位課程	60人	1年	※長期履修生は2年	
	社会福祉学研究科（研究大学院）	博士前期課程	15人	2年		
		博士後期課程	5人	3年		
計（通学制）			入学定員：260人（収容定員：785人）			
通信教育科	社会福祉士一般養成課程		360人	1年6ヶ月		
	社会福祉士短期養成課程		140人	9ヶ月		
	精神保健福祉士短期養成課程		150人	9ヶ月		
	社会福祉主事養成課程		650人	1年		
計（通信制）			入学定員：1,300人			

3 授与する学位

大学	社会福祉学部	学士（社会福祉学）	
大学院	福祉マネジメント研究科（専門職大学院）	福祉マネジメント修士（専門職）	
	社会福祉学研究科 （研究大学院）	博士前期課程	修士（社会福祉学）
		博士後期課程	博士（社会福祉学）

4 教育組織図



5 主要事業実施日程

日 程	事 業 事 項
令和3年 4月 5日 (月)	入学式 (学部・大学院)
(2021年) 4月 6日 (火)	子ども学園入園式
5月 13日 (木)	法人監査
5月 27日 (木)	評議員会、理事会 (事業報告・決算)
6月 26日 (土) ・ 27日 (日)	第59回社会福祉研究大会 (学内学会)
9月 30日 (木)	9月卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
10月 7日 (木)	全学防災・避難訓練
10月 9日 (土)	大学院博士前期課程第Ⅰ期入学試験
10月 30日 (土)	大学祭
10月 31日 (日)	大学祭
11月 6日 (土)	私費留学生・編入学選抜
11月 9日 (火)	創立記念日
11月 20日 (土)	学校推薦型・社会福祉分野推薦選抜
12月 5日 (日)	専門職大学院第Ⅰ期入学試験
2022年 1月 15日 (土) ・ 16日 (日)	大学入学共通テスト (会場：明治薬科大学)
1月 23日 (日)	専門職大学院第Ⅱ期入学試験
1月 30日 (日)	第34回介護福祉士国家試験
2月 1日 (火)	一般選抜 (前期日程)
2月 2日 (水)	大学入学共通テスト利用選抜 (B方式)
2月 5日 (土)	第24回精神保健福祉士国家試験
2月 6日 (日)	第34回社会福祉士国家試験
2月 10日 (木)	大学院博士前期課程第Ⅱ期入学試験
2月 11日 (金)	大学院博士後期課程入学試験
2月 22日 (火)	一般選抜 (後期日程)、聴覚障がい者選抜
3月 5日 (土)	専門職大学院第Ⅲ期入学試験
3月 13日 (日)	専門職大学院第Ⅳ期入学試験
3月 18日 (金)	卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
3月 19日 (土)	子ども学園卒園式
3月 下旬	評議員会、理事会 (事業計画・収支予算)

6 令和4年度入学者選抜の実施

項目	募集人員		試験日	出願期間		合格発表日	入学手続期間		
	福祉計画 学科	福祉援助 学科		自	至		自	至	
私費留学生選抜	若干名		11月6日(土)	10月1日(金)	10月12日(火)	11月24日(水)	11月25日(木)	12月2日(木)	
学校推薦型選抜	一般推薦	8名	11月20日(土)	11月1日(月)	11月11日(木)	12月1日(水)	12月2日(木)	12月9日(木)	
	福祉系高等学校推薦	2名							3名
	特定地域高等学校推薦	2名							3名
社会福祉分野推薦選抜	2名	3名							
一般選抜	前期日程	26名	43名	2月1日(火)	12月1日(水)	1月7日(金)	2月9日(水)	2月10日(木)	2月17日(木)
	後期日程	5名	10名	2月22日(火)	12月1日(水)	2月11日(金)	3月4日(金)	3月5日(土)	3月10日(木)
大学入学共通テスト利用選抜 [A方式]	5名	15名	1月15日(土) 1月16日(日)	1月4日(火)	1月24日(月)	2月16日(水)	2月17日(木)	2月24日(木)	
大学入学共通テスト利用選抜 [B方式]	5名	10名		1月4日(火)	1月24日(月)	2月16日(水)	2月17日(木)	2月24日(木)	
聴覚障がい者選抜	若干名		2月22日(火)	12月1日(水)	2月11日(金)	3月4日(金)	3月5日(土)	3月10日(木)	
合計	55名	105名							

項目	募集人員	試験日	出願期間		合格発表日	入学手続期間		
			自	至		自	至	
大学院 社会福祉学 研究科	15名	前期第Ⅰ期	10月9日(土)	9月1日(水)	9月22日(水)	10月20日(水)	10月21日(木)	10月28日(木)
		前期第Ⅱ期	2月10日(木)	12月16日(木)	1月12日(水)	2月24日(木)	2月25日(金)	3月3日(木)
		後期課程	2月11日(金)	12月16日(木)	1月12日(火)	2月24日(木)	2月25日(金)	3月3日(木)
専門職 大学院 福祉マネジメント 研究科	50名	第Ⅰ期	12月5日(日)	11月1日(月)	11月19日(金)	12月15日(水)	12月16日(木)	12月24日(金)
		第Ⅱ期	1月23日(日)	12月20日(月)	1月7日(金)	2月16日(水)	2月17日(木)	2月25日(金)
		第Ⅲ期	3月5日(土)	1月24日(月)	2月18日(金)	3月9日(水)	3月10日(木)	3月17日(木)
		第Ⅳ期	3月13日(日)	2月21日(月)	3月4日(金)	3月13日(日)	3月14日(月)	3月17日(木)

項目		募集人員	出願期間		合格発表日	入学手続期間		
			自	至		自	至	
通信教育科	社会福祉士一般養成課程	第1期	360名	10月1日(金)	11月19日(金)	12月15日(水)	12月15日(水)	1月7日(金)
		第2期		11月24日(水)	1月31日(月)	2月21日(月)	2月21日(月)	3月4日(金)
		第3期		2月2日(水)	2月25日(金)	3月14日(月)	3月14日(月)	3月23日(水)
	社会福祉士短期養成課程	第1期	140名	10月1日(金)	11月19日(金)	12月15日(水)	12月15日(水)	1月7日(金)
		第2期		11月24日(水)	1月31日(月)	2月21日(月)	2月21日(月)	3月4日(金)
		第3期		2月2日(水)	2月25日(金)	3月14日(月)	3月14日(月)	3月23日(水)
	精神保健福祉士短期養成課程	第1期	150名	10月1日(金)	11月19日(金)	12月15日(水)	12月15日(水)	1月7日(金)
		第2期		11月24日(水)	1月31日(月)	2月21日(月)	2月21日(月)	3月4日(金)
		第3期		2月2日(水)	2月25日(金)	3月14日(月)	3月14日(月)	3月23日(水)
	社会福祉主事養成課程	第1期	650名	11月1日(月)	12月15日(水)	1月19日(水)	1月19日(水)	2月9日(水)
		第2期		12月17日(金)	1月31日(月)	2月21日(月)	2月21日(月)	3月4日(金)
		第3期		2月2日(水)	2月25日(金)	3月14日(月)	3月14日(月)	3月23日(水)